

令和5年度自己点検評価・外部評価報告書

幼保連携型認定こども園
宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園

目 次

・はじめに	1
・令和5年度みどり幼稚園自己点検評価結果	3
・令和4(2022)年度幼保連携型認定こども園 宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園事項報告書	11
・令和4(2022)年度事業計画	25
・令和4年度事業計画に係る履行状況(PDCA)	29
・令和4年度こども園合同研修会計画及び保育環境 改善プログラム勉強会日程	31
・宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園 令和4年度実習受け入れ計画	33
・令和4年度チャイルドルーム年間活動計画	35
・令和4年度教育・保育等に関する保護者アンケートの 結果と考察	37
・令和5年度外部評価報告書	49
・おわりに	53

はじめに

令和5年度は、こども基本法の施行、こども家庭庁の創設など、こどもの人権がより大切にされる新たな時代を迎えました。

昭和35年に幼稚園として出発した本園は、平成27年度をもって幼稚園を廃止し、平成28年度より幼保連携型認定こども園となり、教育・保育を一体として行う新たな機能を有した教育・保育施設へと生まれ変わりました。

そのような中、平成29年には、新たな幼保連携型認定こども園教育・保育要領が出され、その中には、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の他、子どもが主体となる教育・保育を環境を通していかに行うかということが記されています。特に、種々の実体験を行い、遊びを通した学びの基盤づくりが大切になってきています。

本園においては、従来の教師主導型の幼児教育から、一人ひとりの子どもを尊重する子ども主体の幼児教育・保育をいかに構築するかが大きな課題となりました。

このような背景を踏まえ、令和4年度より、本園では、子ども主体の幼児教育・保育の構築をめざし、保育環境、保育内容の見直し等を行い、宮崎国際大学教育学部と宮崎学園短期大学保育科との共同研究によって、教育・保育の質向上に向けた取り組みを行っているところです。

今回は、初めての外部評価を実施し、教育・保育全体の評価をしていただくことを通して、種々の改善を行い、子どもたちの豊かな育ちを願いながら、こども一人ひとりのウェルビーイングに資するさらなる教育・保育の質向上をめざしていきたいと思っております。

今後とも、本園へのご理解、ご指導をどうぞよろしくお願い致します。

令和5年9月20日

幼保連携型認定こども園
宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園
園長 山下 恵子

令和5年度みどり幼稚園自己点検評価結果

令和4年度分を自己評価しました。

自己評価基準

<3:実施されている。2:十分ではないが実施されている。1:実施されていない。>

	評価基準	エビデンス	自己評価
I	福祉サービスの基本方針と組織		
I-1	理念・基本方針		
I-1-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	理念及び基本方針は、重要事項説明書(資料①)、パンフレット(資料②)、ホームページに記載し、周知が図られている。	3
I-2	経営状況の把握		
I-2-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	令和4年度事業報告書(資料③)に動向、分析に基づいた報告がなされている。	3
I-2-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	経営環境、教育及び保育の内容、職員体制等、令和4年度事業報告書(資料③)に取組結果を記載し、公表している。	3
I-3	事業計画の策定		
I-3-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	学校法人宮崎学園中長期計画(資料④)にて令和3年度から令和12年度までの10年間の中長期計画を策定している。3年に1回中間の見直しを行っているが、園においては、前倒しで令和4年度に見直しを行った。	3
I-3-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	中長期計画に基づき、令和4年度事業計画(資料⑤)を策定している。	3
I-3-③	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	事業計画、事業報告書の全職員への回覧及び年度当初及び年度終わりの職員会議にて、計画、報告について説明し、課題を共有し職員への理解を促している。更に、議論を深めることが課題である。	2

I-3-④	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	「こどもえんだより」(資料⑥)及び通信アプリにて、月間、年間の計画を周知し、理解を促している。	2
I-4	質の向上への組織的・計画的な取組		
I-4-①	質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	事業計画に基づき、年に3回のPDCAによる進捗管理を行っている(資料⑦)。また、保育者の自己評価及び園全体の評価を実施し、課題を明確にし、質の向上に向けて、随時見直しを行っている。	3
I-4-②	評価結果にもとづき認定こども園として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	自己評価結果に基づき、令和4年度事業報告書(資料③)にて、改善事項を記入し、次年度より改善している。職員間での改善議論を深めることが課題である。	2
II	組織の運営管理		
II-1	管理者の責任とリーダーシップ		
II-1-①	園長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	園長は、令和4年度事業計画(資料⑤)にて運営方針を示し、年度当初には職員会議にて方針を伝え、全職員への理解を図っている。また、副園長との連携を深め、園長不在時の役割と責任体制を整えている。	3
II-1-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	学校法人宮崎学園において、遵守すべき法令が示され、利害関係者との適正な関係が保持できる仕組みが構築されている。	2
II-1-③	教育及び保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	園長は、附属園及び大学、短大と連携を図りながら、職員研修計画(資料⑧)を企画、運営している。毎回の研修では、方向性を明示している。また、保育場面における助言・指導を行っている。さらに、先進地視察や研修等によって研鑽を積んでいる。	3
II-1-④	経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	7月に財務説明会(資料⑨)を開催し、法人全体及び本園の財政状況を説明し、経営に関する理解を促している。	2
II-2	人材の確保・育成		

II-2-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	法人本部にて、年に数回の人事ヒアリングを実施し、人材の確保に取り組んでいる。新人保育者の離職防止に向け、主任や学年リーダーによるサポート体制を整えている。	2
II-2-②	総合的な人事管理が行われている。	採用、配置、異動、昇進等の人事管理が法人本部との連携により行われている。	3
II-2-③	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	有給休暇、子の看護休暇等が就業規則に定められ、取得が促されている。また、休憩の確保やノンコンタクトタイムの導入により、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	2
II-2-④	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	法人の人材育成制度に基づき、年2回の個人面談が実施されている。	3
II-2-⑤	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	年度当初に、職員研修計画(資料⑧)が出され、保育環境見直しや保育実践等に関する研修計画に基づき、法人内 2 園合同の研修が実施されている。	3
II-2-⑥	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	職員研修計画(資料⑧)やキャリアアップ研修会参加等、保育経験年数に応じた学びの機会が確保されている。	3
II-2-⑦	実習生等の教育及び保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	実習計画が策定(資料⑩)され、姉妹校 2 大学の教育実習を受け入れる体制が構築されている。受け入れに当たり、教育実習前指導を行う等、積極的に取り組んでいる。	3
II-3	運営の透明性の確保		
II-3-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	本園ホームページ及び宮崎学園ホームページにて必要な情報を公開している	3
II-3-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、事務マニュアル(資料⑪)にて事務が適切に遂行されている。	2
II-4	地域との交流・地域貢献		
II-4-①	園児と地域との交流を広げるための取組を行っている。	地域の未就園児を対象として、チャイルドルームを年6回実施している(資料⑫)。また、公園や公	2

		共施設への園外保育を実施し、園児と地域との交流を広げる取組を行っている。 地域との交流機会をさらに広げていくことは今後の課題である。	
Ⅱ-4-②	ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	基本姿勢を明文化していないが、中学生、高校生、大学生等の職場体験学習や保育体験等の積極的な受け入れを行っている。 今後は、ボランティア等の受け入れの基本姿勢及び体制を確立することが課題である。	2
Ⅱ-4-③	認定こども園として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	宮崎市との連携を密にすると同時に職員会議等で虐待事案に関する研修を行っている。保健所や発達支援センター等との連携により、発達に支援を要する子どもや支援を要する家庭との連携によるサポートを行っている。また、近隣小学校との連絡会議に出席し、幼小連携・接続を図っている。	3
Ⅱ-4-④	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	未就園児を対象として、チャイルドルームを年6回実施し、未就園児保護者に対する子育て支援活動を行っている。 子育て支援体制の充実を図ることが今後の課題である。	2
Ⅱ-4-⑤	認定こども園が有する機能を地域に還元している。	未就園児を対象として、チャイルドルームを年6回実施し、地域の保護者の交流の機会を提供している。 今後、地域における子育て支援の拠点としての取り組みを行っていききたい。	2
Ⅲ	適切な福祉サービスの実施		
Ⅲ-1	利用者本位の福祉サービス		
Ⅲ-1-①	子どもを尊重した教育及び保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	職員研修計画(資料⑧)に基づき、子どもの人権を尊重した「こども主体の保育」に取り組んでいる。また、毎月の職員会議にて子ども理解に関する共通認識を図っている。	3
Ⅲ-1-②	園児のプライバシー保護に配慮した教育及び保育が行われている。	全職員に対して、年2回の「人権擁護のためのセルフチェックリスト」(資料⑨)によるチェックを行い、プライバシー保護に配慮した教育及び保育を	2

		<p>行っている。 より人権に配慮した教育・保育の実施が課題である。</p>	
Ⅲ-1-③	<p>利用希望者に対してこども園の選択に必要な情報を積極的に提供している。</p>	<p>ホームページにて本園の保育方針や日々の保育実践を公表している。見学に対しては随時受け入れ、丁寧な説明を行っている。 利用希望者に向けて、ホームページのさらなる充実が課題である。</p>	2
Ⅲ-1-④	<p>保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。</p>	<p>保育方針の変更にあたり、参観日での保護者への口頭での説明、こどもえんだより、通信アプリにて文書で説明している。 課題としては、保育方針等の変更の際は、前年度より複数回の説明を実施するよう努めることである。</p>	2
Ⅲ-1-⑤	<p>保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。</p>	<p>令和5年度に業務継続計画を策定し、緊急時の対応を明記している(資料⑭) 計画を実行するための訓練を実施していくことが今後の課題である。</p>	2
Ⅲ-1-⑥	<p>利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。</p>	<p>保護者アンケートを実施し、その結果及び改善計画を令和4年度保護者アンケート結果報告書(資料⑮)として公表している。また、苦情処理として、目安箱を2か所に設置している。</p>	2
Ⅲ-1-⑦	<p>苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。</p>	<p>重要事項説明書(資料①)及び苦情処理規程(資料⑯)において周知し、職員で共有している。</p>	3
Ⅲ-1-⑧	<p>保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。</p>	<p>重要事項説明書(資料①)及び業務継続計画(資料⑭)で環境を整備し、周知を図っている。日常的に保護者との信頼関係を深め、意見を述べやすい環境を整備している。</p>	3
Ⅲ-1-⑨	<p>保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。</p>	<p>重要事項説明書(資料①)及び業務継続計画(資料⑭)で環境を整備し、組織的かつ迅速な対応に努めている。担任から主任へ、その後園長、副園長、事務職を含む職員全体で協議を重ね、迅速に対応している。</p>	3
Ⅲ-1-⑩	<p>安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。</p>	<p>業務継続計画(資料⑭)にて、リスクマネジメント体制を構築している。 実現性に向けて、事前訓練を実施していくことが</p>	2

		課題である。	
Ⅲ-1-⑪	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	こども家庭庁の「保育所における感染症対策ガイドライン」(資料⑰)に基づき、感染症防止及び発生時の安全確保のための体制等の取組を行っている。感染症の感染状況については、通信アプリにて保護者との共有を図っている。	3
Ⅲ-1-⑫	災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	業務継続計画(資料⑭)にて安全確保のための取組が確立している。また、毎月の避難訓練に加え、安全教室、救急救命訓練、防犯訓練を実施している。加えて、エピペン研修を実施し、アレルギー児への対応の取組を行っている。 津波時の避難場所となっている姉妹校への避難訓練を毎年行うことが今後の課題である。交通量の多い道路横断が災害時の大きな課題である。	2
Ⅲ-2	福祉サービスの質の確保		
Ⅲ-2-①	教育及び保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	年間指導計画(資料⑱)、月間指導計画(資料⑲)、週案・日誌(資料⑳)、個別記録(3歳未満児)(資料㉑)、個別の指導計画(障がい児)(資料㉒)を作成し、日々の保育を行っている。	3
Ⅲ-2-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	法人より任命されている保育アドバイザーによる日常的な助言・指導及び職員研修計画(資料⑧)により、見直しの仕組みが構築され、実践されている。	3
Ⅲ-2-③	アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	保護者アンケートや人権擁護のためのセルフチェックリスト結果等も利用しながら、年間指導計画、月間指導計画、週案が作成されている。	3
Ⅲ-2-④	定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	職員研修計画(資料⑧)にて、毎学期の見直しがなされている。	3
Ⅲ-2-⑤	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	保育記録(資料㉑)が適切に作成され、職員間でも共有化が図られている。	2
Ⅲ-2-⑥	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	個人情報の保護に関する規程(資料㉓)に基づき、管理体制が確立されている。	3

<エビデンス>（下線部のみホームページへの掲載とし、その他は園に保管している）

- 資料① 重要事項説明書
- 資料② パンフレット
- 資料③ 令和4年度事業報告書
- 資料④ 学校法人宮崎学園中長期計画
- 資料⑤ 令和4年度事業計画
- 資料⑥ 「こどもえんだより」
- 資料⑦ PDCAによる進捗管理(令和4年度事業計画に係る履修状況<PDCA>)
- 資料⑧ 職員研修計画
(令和4年度合同研修会計画及び保育環境改善プログラム勉強会日程)
- 資料⑨ 実習計画(宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園令和4年度実習受け入れ計画)
- 資料⑩ 財務説明会
- 資料⑪ 事務マニュアル
- 資料⑫ チャイルドルーム(チャイルドルーム年間活動計画)
- 資料⑬ 「人権擁護のためのセルフチェックリスト」
- 資料⑭ 業務継続計画
- 資料⑮ 令和4年度保護者アンケート結果報告書
- 資料⑯ 苦情処理規程
- 資料⑰ 「保育所における感染症対策ガイドライン」
- 資料⑱ 年間指導計画
- 資料⑲ 月間指導計画
- 資料⑳ 週案・日誌
- 資料㉑ 個別記録(3歳未満児)
- 資料㉒ 個別の指導計画(障がい児)
- 資料㉓ 個人情報保護に関する規程

令和 4(2022)年度
幼保連携型認定こども園
宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園
事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

令和4(2022)年度事業報告書

1. 幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園園児数

年次	区 分	定員	入園者数	令4.5.1現在 在籍数
	保育 (0～2歳児)	42	10	37
	年少 (3歳児)	62	45	59
	年中 (4歳児)	61	1	57
	年長 (5歳児)	61	2	60
	合 計	226	58	213

2. 幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園

第4代園長：山下恵子 (令和4.4.1就任)

区分	専 任					兼任	合計
	園長	副園長	主任教諭	教諭	計		
	※	1	2	16	18	14	32

※園長は、理事長が兼務

3. 職 員

	常勤職員	非常勤職員	合 計
みどり幼稚園	3	3	6

4. 建学の理念・教育目標等

宮崎学園は、建学の精神「礼節・勤労」のもと、高等学校や短期大学において長年にわたり地域に密着した職業人の育成に力を注いできており、平成6(1994)年度には、国際化時代に求められる人材育成のため四年制大学を開学した。また、平成15(2003)年度には高等学校を、平成20(2008)年度には短期大学を男女共学化している。平成21(2009)年度には、高等学校との中高一貫教育を行う中学校を開設し、平成28(2016)年度・平成29(2017)年度には短期大学附属幼稚園2園を幼保連携型認定こども園に移行した。令和元(2019)年度は、学園創立80周年を迎えた。

建学の精神「礼節・勤労」は、人が社会の中で生きていくために必要な基本的理念であるため、時代の変化によってその重要性が失われることはない。宮崎学園の教職員や生徒等が建学の精神に基づく教育活動を日々実践することによって、「宮崎学園ブランド」の確立に取り組む。

○幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園

園の運営にあたっては、乳幼児期における教育及び保育の重要性を深く認識し、園児の安心及び安全の確保を第一とし、保護者や地域及び宮崎学園短期大学等との連携を図りながら、次のような願いをもって子どもたちの心身の発達を支える。

- (1) 五感を通して豊かな遊びや活動を体験する。
- (2) お友だちと夢中で遊び、新しい発見を楽しむ。
- (3) 自分や周りの人を大切にする。

5. 学校法人宮崎学園の沿革

昭和 14 年(1939)	宮崎女子商業学院，宮崎高等裁縫女学校設立(創立者:大坪資秀) 両校合併，宮崎女子実践商業学校と改称
昭和 20 年(1945)	中学校令により宮崎実践女子商業学校と改称
昭和 23 年(1948)	新学制に基づき，宮崎女子中学校設置，同校に専門部を併設
昭和 24 年(1949)	宮崎女子中学校専門部を宮崎高等実業学校と改称
昭和 26 年(1951)	宮崎高等実業学校を宮崎女子高等商業学校と改称
昭和 27 年(1952)	新制高等学校令により宮崎女子商業高等学校設置(宮崎女子高等商業学校廃止)
昭和 30 年(1955)	宮崎女子商業高等学校を宮崎女子高等学校と改称
昭和 35 年(1960)	宮崎みどり幼稚園設置
昭和 40 年(1965)	宮崎女子短期大学設置(保育科) 宮崎みどり幼稚園を宮崎女子短期大学附属みどり幼稚園と改称
昭和 41 年(1966)	宮崎女子短期大学に国文科設置
昭和 42 年(1967)	宮崎女子短期大学に初等教育科設置 宮崎女子短期大学附属清武みどり幼稚園設置 宮崎女子中学校廃止
昭和 43 年(1968)	宮崎女子高等学校に音楽科設置
昭和 45 年(1970)	宮崎女子短期大学に音楽科設置
昭和 48 年(1973)	宮崎女子高等学校に情報処理科設置
昭和 56 年(1981)	宮崎女子専門学校開校
昭和 59 年(1984)	宮崎女子専門学校を宮崎学園技術専門学校と改称
昭和 61 年(1986)	宮崎女子短期大学に英語科設置
平成 2 年(1990)	宮崎女子高等学校商業科を国際情報科に改称 宮崎学園技術専門学校を男女共学とし，オービック専門学校に改称
平成 5 年(1993)	宮崎女子高等学校に文英科設置
平成 6 年(1994)	宮崎国際大学開学 宮崎学園図書館・国際交流センター竣工
平成 10 年(1998)	宮崎女子短期大学に専攻科(福祉専攻)設置
平成 14 年(2002)	宮崎女子短期大学に専攻科(音楽療法専攻)設置 宮崎女子高等学校文英科を特進科に改称
平成 15 年(2003)	宮崎女子高等学校を男女共学とし，宮崎学園高等学校に改称 宮崎学園短期大学国文科及び英語科を人間文化学科に改組転換
平成 18 年(2006)	宮崎国際大学比較文化学部を国際教養学部へ改称
平成 19 年(2007)	宮崎学園高等学校情報処理科を経営情報科に改称
平成 20 年(2008)	宮崎女子短期大学を男女共学とし，宮崎学園短期大学に改称
平成 21 年(2009)	オービック専門学校廃止 宮崎学園中学校開校
平成 26 年(2014)	宮崎国際大学に教育学部児童教育学科設置 宮崎学園短期大学に現代ビジネス科設置
平成 27 年(2015)	宮崎学園短期大学の初等教育科・音楽科・人間文化学科廃止
平成 28 年(2016)	宮崎学園短期大学専攻科(音楽療法専攻)廃止

平成 29 年(2017)	宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園廃止 幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園設置 宮崎学園高等学校音楽科廃止 宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園廃止 幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園設置
---------------	---

6. 事業の概要

(1) 学園の情報開示については、各学校のホームページに掲載しており、下記の令和 3(2021)年度財務書類等も公開している。また、各学校事務室に備えられた財務書類等も閲覧することができる。

○令和 3(2021)年度決算の概要

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表

○令和 3(2021)年度事業報告書の概要

設置する学校・学部・学科等

学部・学科等の入学定員・学生数の状況

役員・評議員・教員・職員の人数（令和 3 年 5 月 1 日現在）

事業の概要

(2) 幼保連携型認定こども園（みどり幼稚園・清武みどり幼稚園）では、21 世紀型保育・幼児教育の質向上のため、「保育環境改善プログラム（3 年間）」を導入し、保育環境（保育室・知育玩具・絵本等）を整えるとともに、非常勤を含む保育教諭の研修（年 4 回）を行った。

7. 事業報告

幼保連携型認定こども園

宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園

1 はじめに

令和4(2022)年度は、建学の精神「礼節・勤労」を幼児向けの文言に改め、子どもを中心にすえた21世紀型の教育・保育に着手した新しい年となった。「こどもから始まる みどりから始まる～生きる根っこを育む保育～」を教育・保育目標とし、五感を通して豊かな遊びや活動を体験し、お友達と夢中で遊び、新しい発見を楽しみ、自分や周りの人を大切にできる子どもたちの育成に取り組んだ。

また、日本知育玩具協会の保育環境改善プログラムに取組み、玩具と絵本を整備し、職員研修に取り組んだ。同時にプロジェクト研究に着手し、両園の合同研修会で、年齢別の実践発表を行った。これらを通して、保育・教育の質向上に取り組んだ。

また、両園では、9月より3歳未満児クラスにおいて育児担当制を導入し、愛情豊かでより丁寧な保育に取り組んだ。清武みどり幼稚園では、3歳以上児クラスにおいて令和5(2023)年度より実施予定の異年齢保育についての事前研修を重ね、準備を整えることができた。

両園においては、大改革の一年であったが、大きな混乱なく無事に一年を終えることができた。

2 事業計画及び取組内容

事業計画	取組内容	達成状況・課題
(1) 21世紀型保育の実現	<ul style="list-style-type: none"> ① これまでの保育を振り返り、今、そしてこれから求められている保育のあり方を究明する。 ② 国や全国の幼児教育・保育の動向について、短大・大学と連携し、情報収集に努める。 ③ 必要に応じて先進地視察を行う。 ④ 目指す21世紀型保育の姿を明確にし、保育目標を見直す。 ⑤ 21世紀型保育の具現化のために「教育及び保育の内容に関する全体的な計画」をはじめ年齢別年間指導計画や各種計画の見直しを計画的に行っていく。 ⑥ 目指す保育の実現のために必要な絵本や玩具等の環境整備を進めていく。 	<p>令和4年4月より、短大・大学と連携して21世紀型保育に全職員とともに取り組んだ。4月には、玩具、絵本等を整備し保育環境を整え新しい年度を迎え、充実した保育環境で一年を終えることができた。</p> <p>宮崎県幼稚園連合会に加え、新たに認定こども園協会に加盟し、こども園としての在り方を学ぶと同時に、みどり20人、清武みどり5人が認定こども園の各種講習会にも参加し、研鑽を深めた。</p> <p>9月に三重県、愛知県への先進地視察を行い、最先端の保育の視察を行うことができた。</p> <p>年間5回の保育環境改善プログラムによる子ども主体の保育の研修会を実施し、職員の子ども理解がより進んだ。また、9月より3歳未満児で「育児担当制」を採り入れたことにより、環境を整えることの重要性を改めて学んだ。</p> <p>短大・大学との連携では、テーマを設定して保育に取り組む、両園合同研修会では、年間3回の研修を実施し、子ども理解を深めることができた。</p> <p>保育・教育実習では連続性のある保育、ドキュメンテーション記録に新たに取り組む、学生にも子ども主体の保育についての理解が深ま</p>

		<p>った。今後は、さらに子ども主体の保育を進めるため、研修会の受講や両附属園による合同研修会などに継続して取り組んでいく。</p> <p>初めての取り組みで正解のないことを生み出していくなど試行錯誤の1年間であった。変わることへの不安や自分を否定されていると感じる感覚が取り除かれるまでに時間を要した職員もいた。不安な気持ちを取り除き、目指したい方向へ進めるよう研修会を重ねたが、その理解はそれぞれであった。新しいものへと移行する際は、十分な学びと理解が必要であった。</p>
(2) 一人でも、みんなとでも遊ぶことのできる教育・保育環境の充実	<p>①園児一人一人の発達段階を考慮した教育・保育活動の推進</p> <p>②特色ある教育・保育活動の推進（英語であそぼう、音であそぼう、ボールで遊ぼう）</p> <p>③園庭の新たな遊具の選定及び遊具の配置の見直し</p> <p>④多様な園外保育の実施（芋掘り、みかん狩り、施設見学、園周辺散策等）</p> <p>⑤集団の一員としての気持ちを育む当番活動の推進</p> <p>⑥クラスや学年、縦割り等の多様な集団での活動の推進</p>	<p>知育玩具を導入し遊びを選べる環境が整ったことで、一人ひとりの子どもの発達に合った遊びが展開された。特別支援を必要とする園児に対しては、個別支援計画を策定した。</p> <p>また、多様な園外保育や子ども主体の行事、季節にあった園外保育を楽しんだ（梅ちぎり、交通公園、フローランテ宮崎等）。園庭でも職員が工夫を凝らした遊びが展開され、学年を超えて遊んだり、他児をまねて一緒に遊びを楽しんだりする姿があった。</p> <p>多様な園外保育を実施したが、特色ある教育の日程の調整や、コロナ感染症ウイルスの状況で行事が混み合い忙しい状況もあった。</p> <p><課題>園庭環境のさらなる充実が望まれる。</p>
(3) 相手に気持ちが伝わる「あいさつ運動」の推進	<p>①登園時・降園時の気持ちのよいあいさつの推進</p> <p>②毎学期の「あいさつ名人」表彰【清武みどり】</p>	<p>あいさつは自然にしかえることがよいため、あいさつ運動をしたり、表彰で促進するということについては行わなかった。</p> <p>職員からあいさつを心がけた。全園児が自らあいさつするには至らなかった。</p> <p><課題>あいさつについては、職員から子どもにも保護者にもあいさつを続け、気持ちよい関係性を築けるよう今後さらなる取組が必要である。</p>
(4) 豊かな心を育む教育・保育環境の充実	<p>①安定した保育者と園児との関係を築き、園児一人一人が自分の居場所を実感できる保育環境の充実</p> <p>②自然事象や動植物に触れる機会や環境の整備</p> <p>③異年齢交流や地域との触れ合い活動等を通して「思いやり」や「ありがとう</p>	<p>保育環境改善プログラムを進め、子ども主体の保育を行う中で、保育者も子どもと一緒に五感を使って遊ぶ機会が増えた。また、年間の4つのテーマ（「自然のいる」「ひなたとひかげ」「わたしの力 みんなの力」「みんなのいいところみつけた」）の視点から見えたことを発表したり、遊びの年表を作ったりする機会があ</p>

	<p>う」の気持ちの醸成</p> <p>④ 「読み聞かせ」や文化活動の導入</p>	<p>った事で、保育を振り返り、保育の質向上につながった。</p> <p>毎日の絵本の読み聞かせを日課に組み込んだほか、保護者による絵本の読み聞かせも実施した（みどり：年間6回）。</p>
<p>(5) 健康・保健・安全面に配慮した教育・保育環境の充実</p>	<p>①保育者も一緒に遊ぶ室内・室外遊びの充実</p> <p>②保育環境の整備と危機管理体制の充実</p> <p>③交通安全教室の実施</p> <p>④毎月の避難訓練及び安全点検の実施</p> <p>⑤感染予防対策の徹底と清潔の保持、及び保護者への情報提供と共有</p> <p>⑥園医による内科検診及び歯科検診の実施</p> <p>⑦ 学校薬剤師による定期検査適宜指導</p>	<p>年間を通して計画的に保育環境を整備し、避難訓練12回、不審者訓練1回、交通安全教室1回、エピペン研修1回、救急救命講習1回、内科検診2回、歯科検診1回、学校薬剤師による定期検査（みどり：5回）を実施した。園内の安全点検、健康診断等の実施により、事故や疾病を未然に防ぐ策を講じた。これらを通して「命を預かる」という職員間の意識を新たにしました。</p> <p>園バスには置き去り防止装置の設置（両園5年度当初に設置）、種々の安全点検等を整備した。</p> <p>定期的に事故報告とヒヤリハットの共有を行い、参加できない職員については記録で確認できるようにした。</p> <p><課題>地震から津波が発生した場合、園から大坪記念ホールへの移動が速やかにいかどうか課題である。</p> <p>さまざまな時間帯での避難訓練を実施しているが、常勤だけでなく非常勤職員も含めて共通理解することを今後も徹底していく。</p>
<p>(6) SDGs</p>	<p>①食に関する指導の充実（SDGs 目標2 関連）</p> <p>②保護者と連携し、ペットボトルキャップを収集する。（SDGs 目標12 関連）</p> <p>③毎月一回、給食会議を行い、園児の食の実態を把握し、こども園としての食育の充実を図る。</p> <p>④保護者を対象にした給食試食会を実施し、献立に対する理解の場を設定する。</p>	<p>給食時に、子どもと食べながら献立や食材についての話を取り入れていた。給食会議（年間12回実施）の中では離乳食、アレルギー、献立など、食べることが楽しく、安全であるようにという観点から、話し合いを行った。</p> <p>ペットボトルキャップの収集は、学園高校との連携で行った。保育の中でも海の環境について考える連続した保育が行われたクラスがあり、子どもたちがSDGsについて学ぶ機会になっていた。</p> <p><課題>乳幼児ならではのSDGsはどうあれば良いのか、保育の中で取り入れていく事を検討したい。</p>

<p>(7) 考える力のもとを育てる教育・保育環境の充実</p>	<p>①動植物や季節等, 自然の変化に気づける場の設定 ②園児一人一人の気づきを表現させる場の設定 ③園児一人一人が遊びを工夫する場の設定</p>	<p>自然との関わりを目指した保育に取り組むため園庭の樹木や草花を整えたり, 樹木を整備することに取り組んだことで, 色水遊びや泥・水遊びなど, 学年を超えて遊びが広がるきっかけが多くあった。</p> <p><課題>園庭環境の充実が課題である。</p>
<p>(8) 「人材育成制度 A&A チェック」活用による教職員の資質向上</p>	<p>①職員の職能向上や日々の保育の充実を図るための職員との個別面談や学期毎の自己評価シートによる振り返りの実施</p>	<p>今年度は新しい保育を採り入れたことから, 職員との対話を増やすことを心がけた。A&A チェックを実施する中でそのことについての職員間の理解が進んだ。</p> <p><課題>こどもの人権・人格の尊重への意識向上が課題である。</p>
<p>(9) 研修参加に対する保育者の意識改革</p>	<p>①職員自らのキャリアアップを図るために必要な研修への積極的参加の推進</p>	<p>みどりは41回の研修に参加し, 全職員がキャリアアップに必要な研修を受講することができた。(新規採用者は別途研修会に参加)</p>
<p>(10) 園内研修の推進</p>	<p>①園としての組織力や教育力・保育力向上のための研修報告会や園内研修の実施</p>	<p>保育環境改善プログラム年間5回, 両園合同研修会3回を実施できた。また両園合同の研修会についてはプロジェクトの報告などを行い, 実践したことを振り返ることができた。</p> <p><課題>全員の参加を目指しているが, 土曜保育があり, 交代での参加となった。内容については今後とも実践報告を行い, 子ども理解を深めるとともに, 職員の困り感の解決やヒントに繋がる研修会の内容を検討する。</p>
<p>(11) 子育て支援</p>	<p>①乳幼児期の教育・保育センターとしての役割を果たす。 ②一時預かり(幼稚園型/預かり保育)の充実 ③未就園児の体験教室や子育て相談会を定期的開催</p>	<p>チャイルドルームを6回開催した(みどり)。</p> <p><課題>満3歳児の保育の実施。未就園児の体験教室の増, 多機能的な保育形態についての検討が必要である。</p>
<p>(12) 施設・設備の改善充実</p>	<p>①安全な環境で安心して教育・保育ができる施設・設備の整備</p>	<p>技術員を採用したことにより, 施設・設備の整備を進めることができた。</p> <p><課題>セキュリティーの充実のため, デジタルロック, 塀の設置が課題である(みどり)。技術員が1人になることで, バス乗務以外の作業について何を優先するか確認しながら行う(清武みどり)。</p>

8. データ編

1. 入園者数の推移（各年4月1日現在）※編入学除く

	2014 H26年度	2015 H27年度	2016 H28年度	2017 H29年度	2018 H30年度	2019 R1年度	2020 R2年度	2021 R3年度	2022 R4年度	2023 R5年度
こども園 みどり	34	59	81	74	79	63	73	62	58	65

※みどり幼稚園は H28 に認定こども園移行により定員増（2・3号子ども含む）

2. 在籍者数の推移（各年5月1日現在）

	2014 H26年度	2015 H27年度	2016 H28年度	2017 H29年度	2018 H30年度	2019 R1年度	2020 R2年度	2021 R3年度	2022 R4年度	2023 R5年度
こども園 みどり	168	182	210	240	240	234	245	226	213	210

※みどり幼稚園は H28、清武みどり幼稚園は H29 に認定こども園移行により定員増（2・3号子ども含む）

10. 幼保連携型認定こども園

宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園（中長期計画）

幼保連携型認定こども園

宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園（中長期計画）

目的：幼保連携型認定こども園教育・保育要領に従い、乳幼児期における教育及び保育を一体的に提供し、乳幼児期に適切な環境を与えてその心身の発達を助長することを目的とする。

目標：「こどもから始まる みどりから始まる ～生きる根っこを育む保育～」をキャッチコピーとして、宮崎学園の建学の精神「礼節・勤労」を基調とした教育・保育を行う。

礼節の精神では、愛されることを通して、自分を大切にし、まわりの人を大切にできるようになることをめざす。勤労の精神では、遊びに没頭したり、新しいことを考えたり、今やることに一生懸命取り組めたりするようになることをめざす。

運営にあたっては、乳幼児期の教育及び保育の重要性を深く認識し、園児の安全の確保を第一とし、保護者や地域及び宮崎学園短期大学等との連携を図りながら、全教職員が一丸となり、たゆまぬ努力と限りない教育愛を結集し、次のような願いをもって子どもたちの心身の発達を支える。

- (1) 五感を通して豊かな遊びや活動を体験する。
- (2) お友だちと夢中で遊び、新しい発見を楽しむ。
- (3) 自分や周りの人を大切にす。

現状と課題（両園共通）：

日本における乳幼児期の教育・保育は、ここ数年大きな変革期を迎えており、これまでの保育者主導型の保育から子ども主体の保育へと移行している。この保育では、遊びを通して学びの基盤を育んでいくことが求められている。特に、自ら考え行動できるようになることをめざし、自己肯定感や意欲、関心を高める、非認知能力を育むことが重視されている。

両園では、令和4年度より宮崎学園短期大学・宮崎国際大学との連携のもと保育目標、保育環境の大幅な見直しを図り、物的環境のみならず、両園の保育教諭を対象に学び直しを継続的に行っている。今後は、保育の質向上に向けて、このような見直しの更なる充実が求められている。

特に、みどり幼稚園は、平成31（2019）年2月23日（土）に、園として初めて自主公開保育を「音で遊ぼう」をテーマに実施した。保育者の教育・保育についての資質向上や自信を高める上で効果があった。今後は、宮崎学園短期大学・宮崎国際大学との連携をさらに強化し、新たな幼児教育・保育に関しての理論と実践を積み重ね、その成果を清武みどり幼稚園とともに定期的に公開保育していくことを検討する。さらに、新たな保育形態として、両園の3歳未満児で導入している育児担当制、令和5年度より清武みどり幼稚園で導入予定である異年齢保育についても保育効果を検証していく。

募集面では、みどり幼稚園は、平成28（2016）年度に幼保連携型認定こども園へ移行し、0歳児から小学校就学前までの乳幼児の教育・保育を行っている。利用定員充足率

は令和4（2022）年度は5月1日現在213人，94.2%（利用定員226人）である。

清武みどり幼稚園は，平成29（2017）年4月より認定こども園に移行し，令和4（2022）年度は5月1日現在195人，77.9%（利用定員216人）である。2号・3号認定児は利用定員を超えているが，1号認定児は定員に達していない。

今後，少子化に伴い，両園ともに1号認定の入園児は大幅減少が予想されるため，子育て支援機能の更なる充実を含め，より早期からの募集体制を確立すること及び学童保育や病児保育等の多機能型施設の導入についても検討する必要がある。

KGI：利用定員の充足率100%

KPI：保護者の満足度アンケート100%

<改訂前：2021～2022>

重点施策：

事業計画	令和3	令和4
	21	22
①「幼保連携型認定こども園」としての教育・保育内容の充実・発展	○	○
②地域における乳幼児期の教育・保育のセンターとしての役割	○	○
③「幼保連携型認定こども園」に係る具体的な実践	○	○
④子育て支援（在園児の預かり保育・未就園児保育）の充実	○	○
⑤教育実習の充実（実践力のある保育者の育成）	○	○
⑥教職員の資質向上のための研修の充実	○	○
⑦公開保育の実施（みどり幼稚園と清武みどり幼稚園と隔年毎に，体制が整い次第）	○	○
⑧利用定員見直し（認定こども園として10年経過あるいは必要に応じて）	○	○
⑨教育・保育の具体的な取組の広報	○	○
⑩園舎及び保育施設の改良とその維持	○	○
⑪宮崎学園創立90周年記念行事		

※今後は，短大の附属園として教育実習生を受け入れるだけでなく，積極的に短大から幼児教育・保育に関する最新情報等の提供を受け，その習得と実践に努め，職員の資質向上を目指す。

※短大の教育・保育に関する理論研究を実践し，成果と課題を明らかにしていく。研究成果は公開保育を通して，広く宮崎市内・県内に広めていく。

※公開保育は各幼稚園の職員体制が整うとともに，一定の研究成果が得られた時期に，みどり幼稚園と清武みどり幼稚園とで同時期あるいは一定期間をおいて交互に行う。

重点施策：

<改訂後：2023～2030>

	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
事業計画	23	24	25	26	27	28	29	30
1. 「21世紀型教育・保育（子どもが主体となる保育）」の実現								
① 国や全国の幼児教育・保育の動向に関する情報収集及び先進地視察	○	○						
② 教育・保育の内容に関する全体的な計画をはじめ各指導計画の精査	○	○	○	○	○	○	○	○
③ 子ども主体保育の実践及び検証	○	○	○	○	○	○	○	○
④ 育児担当制・異年齢保育の実践及び検証	○	○	○	○	○	○	○	○
⑤ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領改訂に伴う、教育・保育内容の見直し					○	○	○	○
2. 教育・保育環境の充実								
① 保育室内・園庭環境の整備及び検証	○	○	○	○	○	○	○	○
② 健康・保健・安全面に配慮した教育・保育の提供（危機管理体制の充実及び定期的な避難訓練等の実施）	○		○		○		○	
3. 子育て支援体制の整備								
① 子育て支援のための定例的教室・相談会等の実施（保育体験・子育て相談会・子育て講演会・園庭開放等）	○	○	○	○	○	○	○	○
② 子育て支援センターの開設と円滑な運営	○	○	○	○	○	○	○	○
③ 満3歳児クラスの開設プレ保育の実施	○	○	○	○	○	○	○	○
④ 多機能型運営の検討（学童保育、病児保育、小規模保育）		○	○					
4. 教育実習の充実 (子ども理解に基づき連続性のある保育実践とその記録の検証)	○	○	○	○	○	○	○	○
5. 教職員の資質向上のための研修の充実								
① 保育環境改善プログラム研修	○	○						
② キャリアアップ研修	○	○	○	○	○	○	○	○
③ 新しい知識・技術の学び直し	○		○		○		○	
6. 公開保育の実施								
① みどり幼稚園	○		○		○			○
② 清武みどり幼稚園		○		○		○		
③ 宮崎学園90周年記念合同公開保育							○	
7. 利用定員見直し	○			○			○	
8. 第三者評価受審								
① みどり幼稚園		○			○			○
② 清武みどり幼稚園			○			○		
9. 教育・保育の具体的な取組の広報（ホームページ・SNSの活用）	○	○	○	○	○	○	○	○
10. 保護者との連携強化								
① 保護者の会との定例会の実施	○	○	○	○	○	○	○	○
② 園の魅力化プロジェクトの立ち上げ		○						
11. 園舎及び保育施設・設備の改良とその維持		○				○		
12. 宮崎学園創立90周年記念行事							○	

令和 4(2022)年度事業計画

幼保連携型認定こども園 宮崎学園短期大学附属
みどり幼稚園

1 はじめに

本学園の建学の精神「礼節・勤労」を基調理念とし、地域性や園児の実態等を踏まえ、保育目標「きまりよく・なかよく・ありがとう」を見直し、21世紀型保育を目指し、新たな教育・保育環境の創出及び教育・保育活動の充実に取り組む。

そのために、両園は、21世紀型保育のあるべき姿を短大、大学と連携して研究を進め、教育・保育のあり方を具体化していく。

指導にあたっては、乳児・幼児教育の重要性を深く認識し、園児の安心・安全の確保を第一とし、園のもつ機能及び家庭や地域の教育力を十分に生かしながら、全職員が一体となり、たゆまぬ努力と限りない教育愛を結集し「園児の笑顔があふれ、ひとみ輝く園」を目指す。さらに、在園児の保護者だけでなく、地域における子育て相談や子育て支援に積極的に取り組み、地域における幼児教育の拠点となる園づくりに努める。

2 事業計画及び取組内容

事業計画	取組内容	達成状況・課題
(1) 21世紀型保育の実現	①これまでの保育を振り返り、今、そしてこれから求められている保育のあり方を究明する。 ②国や全国の幼児教育・保育の動向について、短大・大学と連携し、情報収集に努める。 ③必要に応じて先進地視察を行う。 ④目指す21世紀型保育の姿を明確にし、保育目標を見直す。 ⑤21世紀型保育の具現化のために「教育及び保育の内容に関する全体的な計画」をはじめ年齢別年間指導計画や各種計画の見直しを計画的に行っていく。 ⑥目指す保育の実現のために必要な絵本や玩具等の環境整備を進めていく。	
(2) 一人でも、みんなとでも遊ぶことのできる教育・保育環境の充実	①園児一人一人の発達段階を考慮した教育・保育活動の推進 ②特色ある教育・保育活動の推進（英語であそぼう、音であそぼう、ボールで遊ぼう） ③園庭の新たな遊具の選定及び遊具の配置の見直し ④多様な園外保育の実施（芋掘り、みかん狩り、施設見学、園周辺散策等） ⑤集団の一員としての気持ちを育む当番活動	

	<p>の推進</p> <p>⑥クラスや学年，縦割り等の多様な集団での活動の推進</p>	
(3) 相手に気持ちが伝わる「あいさつ運動」の推進	①登園時・降園時の気持ちのよいあいさつの推進	
(4) 豊かな心を育む教育・保育環境の充実	<p>①安定した保育者と園児との関係を築き，園児一人一人が自分の居場所を実感できる保育環境の充実</p> <p>②自然事象や動植物に触れる機会や環境の整備</p> <p>③異年齢交流や地域との触れ合い活動等を通して「思いやり」や「ありがとう」の気持ちの醸成</p> <p>④「読み聞かせ」や文化活動の導入</p>	
(5) 健康・保健・安全面に配慮した教育・保育環境の充実	<p>①保育者も一緒に遊ぶ室内・室外遊びの充実</p> <p>②保育環境の整備と危機管理体制の充実</p> <p>③交通安全教室の実施</p> <p>④毎月の避難訓練及び安全点検の実施</p> <p>⑤感染予防対策の徹底と清潔の保持，及び保護者への情報提供と共有</p> <p>⑥園医による内科検診及び歯科検診の実施</p> <p>⑦学校薬剤師による定期検査適宜指導</p>	
(6) SDGs	<p>①食に関する指導の充実（SDGs 目標 2 関連）【みどり／清武みどり】</p> <p>②保護者と連携し，ペットボトルキャップを収集する。（SDGs 目標 12 関連）【みどり】</p> <p>③毎月一回，給食会議を行い，園児の食の実態を把握し，こども園としての食育の充実を図る。</p> <p>④保護者を対象にした給食試食会を実施し，献立に対する理解の場を設定する。</p>	
(7) 考える力のもとを育てる教育・保育環境の充実	<p>①動植物や季節等，自然の変化に気づける場の設定</p> <p>②園児一人一人の気づきを表現させる場の設定</p> <p>③園児一人一人が遊びを工夫する場の設定</p>	
(8) 「人材育成制度 A&A チェック」活用による教職員の資質向上	①職員の職能向上や日々の保育の充実を図るための職員との個別面談や学期毎の自己評価シートによる振り返りの実施	
(9) 研修参加に対する保育者の意識改革	①職員自らのキャリアアップを図るために必要な研修への積極的参加の推進	
(10) 園内研修の推進	①園としての組織力や教育力・保育力向上のための研修報告会や園内研修の実施	

(11) 子育て支援	①乳幼児期の教育・保育センターとしての役割を果たす。 ②一時預かり（幼稚園型／預かり保育）の充実 ③未就園児の体験教室や子育て相談会を定期的に開催	
(12) 施設・設備の改善充実	①安全な環境で安心して教育・保育ができる施設・設備の整備	

令和4年度 事業計画に係る履行状況 (PDCA)

学校名【 みどり幼稚園 】
令和5(2023)年4月5日現在

区分等	Plan(行動計画) ※事業計画より抜粋 ○完了 △実施中 ×未実施 のいずれかを右欄(D&C)へ記載	Do & Check (実施・評価)				Action(改善等) 左記 D&C が×の場合、状況を簡潔
		7月	10月	1月	4月	
1. 21世紀型保育の実現	①これまでの保育を振り返り、今、そしてこれから求められている保育のあり方を究明する。	○	○	○	○	
	②国や全国の幼児教育・保育の動向について、短大・大学と連携し、情報収集に努める。	○	○	○	○	
	③必要に応じて先進地視察を行う。	△	○	○	○	
	④目指す21世紀型保育の姿を明確にし、保育目標を見直す。	○	○	○	○	
	⑤21世紀型保育の具現化のために「教育及び保育の内容に関する全体的な計画」をはじめ年齢別年間指導計画や各種計画の見直しを計画的に行っていく。	○	○	○	○	
	⑥目指す保育の実現のために必要な絵本や玩具等の環境整備を進めていく。	○	△	○	○	遊びの進展に伴い教が不足気味である。
2. 一人でも、みんなとでも遊ぶことのできる教育・保育環境の充実	①園児一人一人の発達段階を考慮した教育・保育活動の推進	△	△	○	○	支援を要する子どもたちへの個別支援計画の作成。
	②特色ある教育・保育活動の推進(英語であそぼう、音であそぼう、ボールであそぼう)	○	○	○	○	
	③園庭の新たな遊具の選定及び遊具の配置の見直し	×	×	△	○	築山が完成。
	④多様な園外保育の実施(フローランテ、科学技術館、権、大淀川学習館、中央公園)	○	○	○	○	
	⑤集団の一員としての気持ちを育む当番活動の推進	×	×	×	×	新しい保育の中で行事や園庭での遊びを通して、年上の子どもへの憧れや、年下の子どもへの思いやり等が育まれてきた。
	⑥クラスや学年、縦割り等の多様な集団での活動の推進	×	×	×	○	
3. 相手に気持ちが伝わる「あいさつ運動」の推進	①登園時・降園時の気持ちのよいあいさつの推進	○	○	○	○	
	②毎学期の「あいさつ名人」表彰【清武みどり】					
4. 豊かな心を育む教育・保育環境の充実特色ある	①安定した保育者と園児との関係を築き、園児一人一人が自分の居場所を実感できる保育環境の充実	○	○	○	○	
	②自然現象や動植物に触れる機会や環境の整備	○	○	○	○	
	③異年齢交流や地域との触れ合い活動等を通して「思いやり」や「ありがとう」の気持ちの醸成	×	○	○	○	運動会で実施
	④「読み聞かせ」や文化活動の導入	○	○	○	○	
5. 健康・保健・安全面に配慮した教育・保育環境の充実	①保育者も一緒に遊ぶ室内・室外遊びの充実	○	○	○	○	
	②保育環境の整備と危機管理体制の充実	△	○	○	○	
	③交通安全教室の実施	×	×	△	○	2月に実施
	④毎月の避難訓練及び安全点検の実施	○	○	○	○	
	⑤感染予防対策の徹底と清潔の保持、及び保護者への情報提供と共有	○	○	○	○	
	⑥園医による内科検診及び歯科検診の実施	○	○	○	○	年間計画終了
	⑦学校薬剤師による定期検査適宜指導	○	○	○	○	
6. SDGs	①食に関する指導の充実 (SDGs目標2関連) 【みどり/清武みどり】	○	○	○	○	
	②保護者と連携し、ペットボトルキャップを収集する。(SDGs目標12関連) 【みどり】	○	○	○	○	
	③毎月一回、給食会議を行い、園児の食の実態を把握し、こども園としての食育の充実を図る。	○	○	○	○	
	④保護者を対象にした給食試食会を実施し、献立に対する理解の場を設定する。	×	×	×	×	コロナ感染防止の観点から中止
7. 考える力のもとを育てる教育・保育環境の充実	①動植物や季節等、自然の変化に気づける場の設定	○	○	○	○	短大訪問(2回目実施)
	②園児一人一人の気づきを表現させる場の設定	○	○	○	○	保育環境改善の実施
	③園児一人一人が遊びを工夫する場の設定	○	○	○	○	コーナーの設置工夫
8. 「人材育成制度A&Aチェック」活用による教職員の資質向上	①職員の職能向上や日々の保育の充実を図るための職員との個別面談や学期毎の自己評価シートによる振り返りの実施	○	○	○	○	非常勤を含めて面談を実施した
9. 研修参加に対する保育者の意識改革	①職員自らのキャリアアップを図るために必要な研修への積極的参加の推進	○	○	○	○	
10. 園内研修の推進	①園としての組織力や教育力・保育力向上のための研修報告会や園内研修の実施	○	○	○	○	保育環境プログラム実施(4月、5月、7月、9月、10月、3月)
11. 子育て支援	①乳幼児期の教育・保育センターとしての役割を果たす。	○	○	○	○	第1回～第6回チャイルドルーム開催済
	②一時預かり(幼稚園型/預かり保育)の充実	○	○	○	○	

	③未就園児の体験教室や子育て相談会を定期的開催	○	○	○	○	第1回～第6回チャイルドルーム開催済
12. 施設・設備の改善充実	①安全な環境で安心して教育・保育ができる施設・設備の整備	○	○	○	○	

令和4年度 こども園合同研修会計画及び保育環境改善プログラム勉強会日程(案)

●子どもを視る目を養う ●子どもにあった環境を構成する力をつける

日時	研修内容	講師
3月24日 3月25日 16時00分 ～16時45分	脳科学的エビデンスに基づいた21世紀型の幼児教育・保育 ○前頭前野/前頭連合野の重要性 1 脳科学の立場から見て、幼児教育がなぜ重要か 2 幼児期の脳を発達させるために必要なことは	(場所：清武みどり) (場所：みどり) 宮崎国際大学 村上 昇学長
4月3日 9時00分～12 時00分	第1回合同研修会 ○「宮崎学園が目指す子どもが主体となる教育・保育」 ○園の方針 ○新しい園務・チームと春のプロジェクトについて	(場所：宮崎みどり) 小川美由紀 山下愛実
5月30日 31日 5月31日～ 6月1日	【第1回保育環境改善プログラム】 1日目：全体研修 18 00 21 00 2日目：現場巡回・フィードバック・コンサルティング 10 00 17 00	①みどり 清武みどり 日本知育玩具協会理事長 藤田 篤氏 堀之内信子氏
6月18日 13時00分 ～16時40分	第2回合同研修会 ○子どもから始まる指導計画と、実践を通して捉えた子どもの姿・記録とのつながり ○はるのプロジェクト“自然のいる”の共有 ○なつのプロジェクト“ひなたとひかげ”について	(場所：みどり) 小川美由紀 山下愛実
7月26日 27日 7月27日～ 28日	【第2回保育環境改善プログラム】 1日目：全体研修(18 00 20 00 2日目：現場巡回・フィードバック・コンサルティング 10 00 15 00	清武みどり みどり 日本知育玩具協会理事長 藤田 篤氏 堀之内信子氏
8月20日 9時00分～12 時00分 中止	第3回合同研修会 ○子どもの発達に応じた支援 ○なつのプロジェクト“ひなたとひかげ”、“自然のいる”の共有 ○あきのプロジェクト“わたしの力、みんなの力”について	(場所：みどり) 小川美由紀 山下愛実
9月27日 28日 9月28日～ 29日	【第3回保育環境改善プログラム】 1日目：全体研修(18 00 21 00 2日目：現場巡回・フィードバック・コンサルティング 10 00 17 00	①みどり 清武みどり 日本知育玩具協会理事長 藤田 篤氏 堀之内信子氏
10月26日 27日 10月27日～ 28日	【第4回保育環境改善プログラム】 1日目：全体研修(18 00 20 00 2日目：現場巡回・フィードバック・コンサルティング 10 00 15 00	清武みどり みどり 日本知育玩具協会理事長 藤田 篤氏 堀之内信子氏
12月17日 9時00分～12 時00分	第4回合同研修会 ○あきのプロジェクト“わたしの力、みんなの力”の共有 ○ふゆのプロジェクト“みんなのいいところみつけた”について	(場所：みどり) 小川美由紀 山下愛実

<p>1月9日 13時30分 ～16時00分</p>	<p>※午前中：宮崎学園FD・SD合同研修会 第5回合同研修会との交渉を有嶋先生がされて、有嶋先生 ○検討中詳細計画は作成しました。</p>	<p>(場所：高校 あがた幼稚園 伊豆元精一先生</p>
<p>3月6日 7日 3月7日～ 8日</p>	<p>【期前研修会】 1日目：全体研修(18:00～21:00) 2日目：現場巡回・フィードバック・コンサルティング 10:00～17:00</p>	<p>①みどり 清武みどり 日本知育玩具協会理事長 藤田 篤氏 堀之内信子氏</p>
<p>3月25日 9時00分～12 時00分</p>	<p>第6回合同研修会 ○あきのプロジェクト“わたしの力、みんなの力”の共有 ○ふゆのプロジェクト“みんなのいいところみつけた”の共有 ○はるのプロジェクト“○○○”について</p>	<p>(場所：短大 小川美由紀 山下愛実</p>

宮崎学園短期大学附属みどりの幼稚園 令和4年度実習受け入れ計画

大学名	実習名	期間<日>にち>	担当	人数
宮崎国際大学	保育実習 I a	令和4年5/23(月)~6/3(金)<10日間>	全クラス担任・未満児主任・園長(副園長)	1名
宮崎学園短大	教育実習	令和4年5/30(月)~6/18(土)<15日間>	以上児主任・以上児担任・園長(副園長)	1名
宮崎学園短大	観察実習	夏季休業中<3日間>	以上児主任・以上児担任	1名
宮崎国際大学	教育実習前指導(学内)	令和4年9/20(火)	以上児主任	37名
宮崎国際大学	教育実習前指導(学外)	令和4年9/26(月)~9/29(木)<4日間>	以上児主任・以上児担任	37名
宮崎学園短大	教育実習前指導(学内)	令和4年10/20(木)	園長・以上児主任	82名
宮崎学園短大	教育実習 基本実習①	令和4年10/31(月)~11/4(金)<4日間>	以上児主任・以上児担任・園長(副園長)	41名
宮崎学園短大	教育実習 基本実習②	令和4年11/7(月)~11/10(木)<4日間>	以上児主任・以上児担任・園長(副園長)	41名
宮崎国際大学	保育実習 II	令和4年12/12(月)~12/23(金)<10日間>	未満児主任・以上児担任・園長(副園長)	1名
宮崎国際大学	教育実習 I・II	令和5年2/13(月)~2/27(月)<10日間>	以上児主任・以上児担任・園長(副園長)	1名



令和4年度

みどり幼稚園

チャイルドルーム年間活動計画

今年度も、未就園児のお子さまを対象に『チャイルドルーム』を行います。全5回の予定です。楽しい内容を計画していますので、どうぞ皆さまのご参加をお待ちしております。

実施日	活動内容（場所）
7月 1日（金）	コーナーあそびをしよう（ホール）
9月 8日（木）	ふれあい遊び・大型絵本（ホール）
10月28日（金）	しゃぼん玉あそびをしよう（園庭）
1月17日（火）	楽器あそびをしよう（ホール）
2月 2日（木）	つくろうあそぼう（ホール）

※活動内容は変更になることがあります。

「チャイルドルームの予約・受付」

受付： 9時50分～（2階 ホール）

開始： 10時00分～45分程度

準備物：上靴・水筒・手拭きタオル

服装：動きやすい服装でご参加下さい。

室内履き持参



お知らせと
お願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加人数を各回20名と制限させていただきます。ご参加の際は、自宅での検温とマスクの着用をお願いいたします。（ご不明な点などありましたら、幼稚園までお問い合わせ下さい。）

予約方法・・・幼稚園にお電話での予約 TEL 0985-22-3251（予約受付：事務局）

※ 上記のように実施を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染状況、園行事等の関係で変更になる場合もございます。（急な変更の場合は、みどり幼稚園ホームページまたは、「れんらくアプリ」でお知らせしますので、来園前にご確認いただくと助かります。）

※ ご近所に該当される子どもさんがいらっしゃいましたら、お声掛けをよろしくお願い致します。皆さまのご参加をお待ちしております。

※ 駐車場はG駐車場をご利用下さい。（みどり幼稚園駐車場PDFをご覧ください。）



令和5年3月31日

保護者の皆様へ

みどり幼稚園
園長 山下 恵子

陽春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、3月末に実施しました保護者アンケートの結果と考察をまとめましたので、ご報告いたします。
いただきましたご意見は、今後の本園の教育・保育活動に生かしていきたいと考えております。ご協力
いただき、また、貴重なご意見をありがとうございました。

令和4年度 教育・保育等に関する保護者アンケートの結果と考察

実施期間 令和5年3月17日～3月27日

回答率 115/175 回答率 66%

評価基準 4：そう思う 3：どちらかといえばそう思う 2：どちらかといえば思わない

1：そう思わない

(%で表示)

1	保育・教育方針、目標について	4	3	2	1
①	保護者に教育方針や教育目標をわかりやすく伝えている。	55.7	36.5	6.1	1.7
②	教職員が連携、協力して活動に取り組んでいる。	55.3	39.5	2.6	2.6
③	保育者は、子ども一人ひとりが愛されることを通して、自分を大切に し、まわりの人を大切にできる心を育もうとしている。	60.0	39.1	0.9	0
④	保育者は、子ども一人ひとりが遊びに没頭したり、新しいことを考えたり、 今やることに一生懸命取り組める力を育もうとしている。	68.7	27.8	3.5	0
2	活動内容について				
①	本園は、子どもの遊びや生活の充実に努めている。	72.2	24.3	3.5	0
②	本園は、保育の中で五感を通した様々な体験や遊びができるように工夫 している。	66.1	30.4	3.5	0
③	本園は、子ども一人ひとりの個性（良さや可能性）を大切にしている。	47	44.3	7.8	0.9
④	本園は、子ども一人ひとりが生き生きと主体的に取り組めるよう活動を 工夫している。	50.4	42.6	7	0
⑤	本園は、子どもが自ら考えて遊びに取り組もうとする気持ちを育てて いる。	56.5	40	2.6	0.9
⑥	あなたのお子様は、園での生活を楽しんでいるようである。	78.1	20.2	0.9	0.9
3	保育内容・方法・環境整備について				
①	保育者は、子どもたちに笑顔で温かい言葉遣いや態度で接している。	64.3	33	2.6	0
②	保育者は、子どもを認め、子どもの意欲や自信を育もうとしている。	63.7	33.6	2.7	0

③	保育者は、子どもが安全に安心して生活できるよう、遊具・施設等の事故防止に努め、保育室内を清潔にしている。	63.5	32.2	4.3	0
④	本園は、地震、火災、不審者等危機管理に関する対策を行っている。	67.5	26.3	4.4	1.8
4	職員の服務について				
①	保育者は、職務にふさわしい身なり、節度のある行動・態度がとれている。	73	25.2	0.9	0.9
5	家庭・地域について				
①	本園は、便りや連絡帳では、保護者の立場を考慮して適切な内容を伝えている。	59.6	27.2	11.4	1.8
②	保育者は、文書や会話等を通して、子どもや園の様子を伝えている。	55.3	36	7	1.8
③	保育者は、保護者の意見や相談等に対して、適切に対応している。	61.9	31	3.5	3.5
6	その他				
	本園の教育・保育に満足している。	54.8	36.5	5.2	3.5

【考察】

1. 保育・教育方針、目標について

令和4年度より子どもが主体となる「21世紀型教育・保育」に取り組み始めました。まだまだ、保護者の皆さまに方針等をお伝えする機会が不足していたように思います。今後は、これまで以上の積極的な発信に努めてまいります。子どもたち一人ひとりを大切にしようとする取り組みは、概ねご理解いただけたのではないかと思います。今後も、努力を重ねてまいります。

2. 活動内容について

子どもたちの遊びや生活の充実、子どもたちが園での生活を楽しんでいることについては、概ねご理解いただけていると思います。

子ども一人ひとりの個性を大切にできる保育については、1, 2の回答を合わせると、8.7%の結果でしたので、今後、更なる努力をしていきます。

3. 保育内容・方法・環境整備・服務について

保育内容・方法等については、概ねご理解いただいた結果となりました。不審者危機管理等においては、1, 2の回答が6.2%であることから、道路側に塀の設置、暗証番号付きの鍵を設置する等、近々にセキュリティの強化をいたします。

4. 家庭・地域について

保護者の皆様への情報伝達においては、1, 2の回答が13%となり、大きな課題となりました。3歳以上児においては、令和4年度より連絡帳を希望される方にしたことや、毎週出していた通信を月1回にしたことによるものと思われます。これらは、先生方が可能な限り子どもたちと関わる時間を確保することを重視したためです。

今後は、連絡アプリ「おうちえん（現在使用中の連絡アプリの中にある写真や映像を手軽に配信できるアプリです）」を導入し、映像や動画で子どもたちの様子をお伝えできるようにしたいと思います。

5. その他

子どもたちが毎日を輝きをもって楽しく生活でき、保護者の皆様が安心してお子様を預けられる園

を目指して努力を重ねてまいります。

ご意見等ございましたら、お気軽にお問い合わせいただけるように環境を整えていきます。

	良かった点、改善事項等についてのご意見	園としての考え
1	今年度からの保育方針で、自主的に遊ぶ場面が増え、〇〇が楽しい！明日は〇〇をしたい！と子どもがとてもいきいきとしていました。自分の興味があることを深められる時間はとても有意義だったと思います。また、さまざまな経験を通してこれまで見えなかった世界がみえ、興味も広がっていったと思います。発表会の演目が減りました。昨年度までを知っている者としては少一し寂しさもありましたが、子どもたちが行事の練習にたくさんの時間を費やすことよりも、遊ぶ時間を確保できたことはとても良かったのではないかと思います。コロナの影響で経験不足を心配していましたが、特に最後の一年は、たくさんのことを経験させていただき、先生方には感謝しております。ありがとうございました。	ご意見ありがとうございます。 発表会でも、子どもたちの好きなことからヒントを得て、お友達や担任と一緒に考え、工夫していった結果をご覧いただけたのではないかと思います。みんなで作り上げていく過程には子どもたちのそれまでの経験が活かされ、一人ひとりが精いっぱい自分を表現することを楽しんでいました。自分の身体を使って体験することの大切さをご理解いただき、感謝いたします。
2	送迎時、園内に誰でも出入りできる状況が少し気になります。近頃では学校での不審者による事件も多いので、入館証などがあった方がセキュリティ上良いのではと思う事があります。	セキュリティの強化に向けて、扉の設置、暗証番号付きの鍵を近々に設置いたします。
3	五感を使った遊びや教育で子ども達はのびのびと興味を持つことができていると思う。連絡帳でのやり取りが、めっきり減って少し寂しい。	連絡アプリを活用して写真や動画を送信いたします。連絡アプリの機能を利用して遠慮なくご連絡ください。
4	未満児だよりも全学年同じでこども園だよりになり子供たちの様子がわかりにくくなった。別々のほうがより詳細でわかりやすかった。子供のことで相談をすると丁寧に話をしてもらえし、気にかけてもらえる育児に悩んだときにすごくありがたい。	連絡アプリを活用して写真や動画をクラスごとに送信いたします。
5	絵本の朗読を、五感を使って楽しませようと実際に楽器を使っていた事が感激しました。臨場感があり、絵本の世界に飛び込んだようでした。ありがとうございました。	ご意見ありがとうございます。子どもたちの五感や柔らかな心に届くものを一緒に見つけていきたいと考えています。
6	数千円かかる絵本の購入と制服の変更を保護者の意見を聞くことなく決定されたことについて、未だに理解も納得もしていません。園の運営に保護者や子どもの意見は関係ないのでしょうか。誕生日会はゲームコーナーがなくなって、改悪しているように思います。先生の出し物ではなく、子どもの姿が見たいです。発表会も改悪していると思います。子どもが主体的に作り上げる、過程に重きを置く必要がそこまであるのかな？と正直感じます。保護者が様々な都合をつけて見に行ってることをもう少し考えていただきたいです。日頃子どもに接していただいている先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。不満はありません。	いつもお忙しい中でご都合をつけていただきありがとうございます。お子様のため、本園のために率直なご意見をいただいたことに感謝いたします。今後とも、保護者の皆様のご意見をアンケート等でお尋ねしながら参考にさせていただくとともに、お子様についてご一緒に考え、お話ができればと思います。

7	おかげさまで元気に毎日過ごせています。いつもありがとうございます。年度始めの4月の行事日程が早めにわかると凄くありがたいです(仕事の都合上、2ヶ月先のシフトが決まっています急な休みがとりづらい事があるので。)	ご意見をいただきありがとうございます。年度末にも次年度の見通しをつけられるようにしながら、早めのお知らせができるように心がけてまいります。
8	台風が近づいてきている時や、クラス閉鎖があっている日には、エピソード記録等の急ぎでないお知らせは、送らないようにしてもらいたい。昨年、通知が来る度に、何度も確認した覚えがある。	ご意見ありがとうございます。令和5年度より、改善致します。
9	発表会は制服でして欲しかった。ちゃんとした合奏が見たかった。今までが素晴らしかったので今年はがっかりでした。みどり幼稚園は今まで通りが良いと思います。	率直なご意見をいただきありがとうございます。今後、共に試行錯誤を重ねながら、子どもたちの力が発揮できるようにしていきたいと思います。
10	先生方はいつも、子ども達のためにこのような状況下でもできることを模索して企画し、実行してくださりました。おかげで子どもは色々な体験をし、その度に大きく成長できました。また、日頃からも温かい声かけやご指導をしてくださり、生きていく上で必要な力や人間関係なども育んでくださりました。本当に感謝してもしきれません。この園に入園することができて幸せでした。ありがとうございました。	ご意見をいただきありがとうございます。今までに経験のない状況の中で、お子様方の“楽しい”が職員の背中を押してくれました。今後とも様々な体験の機会を共に楽しみながら成長を見守っていきたく存じます。
11	夕方迎えに行くと子どもがケガをしていたが担任の先生は把握しておらず、(預かりの為?) 預かりの先生からも連絡事項が無かった。詳細を聞いたかったが、聞ける人が誰もいないことが何回もあり、それがとても気になった。担任の先生も夕方までいとは限らないので、せめて連絡帳に記載するなどして欲しい。	ご意見をいただきありがとうございます。ご心配をおかけしたことを申し訳なく思っております。今後、職員間の連携に漏れがないよう、改善をまいります。
12	季節行事や歌唱など適切に取り入れて充実した保育内容を提供してくださっており、感謝しています。外遊びや制作活動の様子をもう少し伝えてもらえたら嬉しいです。また、担任の先生がお休みを取れるというのがとても良いと思い、積極的に休みを取るべきだと思います。先生方が働きやすい環境づくりが保育の充実にも還元されると思いますし、他の先生にも理解していただけると安心につながると思います。	ご意見をありがとうございます。外遊びや制作活動などの様子をお伝える機会が不足していたと思います。連絡アプリ「おうちえん(現在使用中の連絡アプリの中にある写真や映像を手軽に配信できるアプリです)」等を使い、なるべくお子様方のいろいろな様子をご家庭にお伝えできるようにしてまいりたいと思います。
13	運動面をもう少し充実してほしい。年長はサッカーがあるが、中少も何かあればと思う。今年度はマラソン大会もなかったし残念。鉄棒でも縄跳びでもマット運動でも....	ご意見をいただきありがとうございます。年少、年中の身体を使った遊びの様子を保護者の皆様にもお届けできるようにしていきたいと思います。
14	今年から【子どもを主体とする保育】となり、これまで以上に	子ども主体の保育についてご理解をい

	<p>様々な活動に取り組んでいただいていると感じております。自分が好きなことをとことんさせていただけるという点はとても良いのでは、と感じている次第です。個人として感じた点は、これまで行っていた(と聞いている)年長時の少し小学校を意識した勉強(ひらがなを書くことや鍵盤ハーモニカ等)などは実施していただけるのかなあと感じていましたので、無くなってしまったのは少し残念です。しかしながらこれまでのふんわりとした感じではなく、年度当初からきちんとした基本方針を文書などで頂いたことで、幼稚園からの熱意や力の入れ方がこれまでとは違うと感じておりますので、これからも子どもたちをよろしくお願ひしたいと思っております。いつもご多忙の中、子どもたちの事を考えて下さり、ありがとうございます。</p>	<p>ただきありがとうございます。私どもも保育の中で、お子様方の“やりたい”という思いの強さに驚かされ、毎日が新しい発見の一年でした。また、見守りながら待つことや対話をすることで生まれてくるものの大切さにも気づかされました。今後とも、お子様方のやりたい気持ちを受け止めながら、様々な体験ができるように工夫してまいりたいと思ひます。</p>
<p>15</p>	<p>クラス内での上履きの脱ぎ履きの多さが気になりました。お着替えマット→帳面提出→マット→タオル掛け→マット等。また、棚の配置と導線の見直しが怪我やトラブルの予防により繋がると感じます。</p> <p>タブレットの押しやすれに料金が発生することに説明をいただけるとありがたいです。園児の登園・降園管理は園のお仕事ではないのかと考えています。</p>	<p>ご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>保育室内の環境構成や、それに伴う子どもたちの動きについて、安全面に配慮しながら見直しを行ってまいります。</p> <p>料金発生につきましては、再度周知を図ってまいります。</p>
<p>16</p>	<p>色々な遊びや、学び、園外保育を計画して下さり、子供が楽しく園生活を送っていて、大変感謝しています。気になる点は、予定のお知らせや準備物の連絡をもっと早めにして欲しいという事。園だよりのお知らせはただ予定が書いてあるだけなので。特に避難訓練に消防車が来る事やお店やさんごっこをする、など、通常とは異なるイベントがある時など、前もってお知らせして欲しいです。またその日の状況で、学園のグラウンドに散歩に行った等、楽しい事があった際は今日はこんな事をしましたよなど教えて欲しいです。バス登園、降園だとなかなか園の様子を目にする事も無く、先生方と触れ合いお話しする機会もないので、園生活が伝わりにくいように感じています。本当に先生方お忙しいと思いますが、何気ない事が親にとっては知りたい事だと思ひます。連絡アプリ等で知れると嬉しいです。また、園外保育等でお天気が曖昧な際、結局今日は園内保育になったのか、予定通り園外保育なのかかわからなくて、1日気になって過ごしているので、朝一言連絡アプリでお知らせがあると大変嬉しく思ひます。毎日楽しみに登園して、成長してくれている子供の姿にただただ感動の繰り返しです。より良い幼稚園生活を送れる事を願ひます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>園生活について、見通しを持って登園準備をしていただいたり、活動の様子がわかるようなお知らせ等ができるように情報発信の準備を進めていきたいと思ひます。また、連絡アプリ「おうちえん」を使い、直接お子様の様子をご覧いただく機会を増やしていきたいと考えております。</p>
<p>17</p>	<p>卒園生です。今年度からの保育は昨年以前と全く変わり、様々</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>

	<p>な取り組みを行ってくれているなど感じていました。参観日の度 に取組みの様子や心がけていることなどを丁寧に教えてくれ、家 庭でなかなかできないようなことを園で取り組んでいただき感 謝しています。ありがとうございました。</p>	<p>なかなか思い切った活動ができない状 況の中ですが、さまざまな体験を大切に しながら日々の保育を行っております。</p>
18	<p>園での生活がやはりあまり伝わらないです。全体的な感じはア プリの連絡で何となく伝わりますが保護者として知りたいのは 個別の生活になります。もっと分かりやすいアクションがほしい です。</p>	<p>連絡アプリを活用して写真や動画をクラ スごとに送信いたします。</p>
19	<p>子供が楽しそうなのが伝わってくるので、安心して預けられて います。いつもありがとうございます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>
20	<p>●良かった点：絵本の購入がよかった。先生方が明るくたくさん 声掛けをしてくださって子供も楽しく通えました。ありがとうご ざいます。新しいおもちゃが沢山あり、興味も持って遊べていた。 ●改善要望など：座って話を聞く等の基本的習慣の習得が必要だ と思う。先日の参観日で男の子達がウロウロしていて心配になっ た。マスクも緩和されたので、休み期間（春休み、夏休み等）で、 毎日シューズを持ち帰る等の対策を変えてほしい。荷物が多すぎ る。ブログが PDF で見にくかった。ホームページ等で確認でき ると良い。クラスの名簿などもなく、保護者同士の関わりがない ので名前もはっきりわからず、同じクラスでも親同士の交流が深 まらなかった。お弁当の日は、おにぎり弁当以外で、普通の弁当 の日があってもいいのではないかと感じる。食育が少ない。他の 園では体操教室やスイミングなど体を鍛える内容が多いので、み どりでもぜひしてほしい！いろいろ書きましたが、先生方には一 年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。</p>	<p>率直なご意見をいただいたことに感謝 いたします。すぐに集団に馴染めるお子 様、時間のかかるお子様などさまざま ですが、職員全体で情報を共有しながら 徐々に基本的な生活習慣も身に付けてい けるようにしているところです。情報発 信については新しく「おうちえん」とい うシステムを取り入れる予定です。また、 ホームページにも園に関する情報を掲載 予定ですのでご覧いただけると嬉しいで す。個人情報保護やコロナ感染等の中で 行事についての制約もありましたが、今 年度は参観の機会を増やしていく予定で す。食については、日々の給食の中以外 にもお伝えできる機会を工夫したいと思 います。</p>
21	<p>同じような毎日でなく、ワクワクドキドキするような楽しいイ ベント等もっと増えると子供達ももっと楽しく幼稚園に通える と思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 今後とも保育の中で工夫していきたい と思います。</p>
22	<p>子供達が主体的に活動できるように、教室の玩具や絵本などの 環境が整えられたり、ごっこ遊びの幅を広げられたりと、とても ありがたく思います。ただもう少し外での活動、体力作りもでき るような活動も増やしていただけると嬉しいです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 保育室内だけでなく園庭や園外活動で 身体を使った遊びを取り入れています が、さらに工夫をしていきたいと思いま す。</p>
23	<p>セキュリティ面を改善して頂きセキュリティ強化をお願いし たいと思います。地震、火災は勿論ですが侵入者対策の見直しと 訓練、セキュリティ強化をお願いしたいと思います。いつでも園</p>	<p>セキュリティの強化に向けて、扉の 設置、暗証番号付きの鍵を近々に設置致 します。</p>

	庭から誰でも入れそうなので心配です。	
24	安心して、子ども預けることができます。楽しい園生活を過ごさせていただきありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。
25	子供の問題点（園で寂しそうにしているとか、お友達を傷つけるなど）に対する解決策を先生と一緒に考えてくださり、アドバイスをいただくことで、改善に向かうことができました。	ご意見ありがとうございます。
26	引き続き、よろしくお願い致します。	ありがとうございます。承知しました。
27	登園時、2階まで送っていくと教室にも廊下にも保育者がおらず、子どもたちだけの場面を何度も見かけました。朝は子供も少ないし先生方が全て見ておくのは難しいかもしれないし、少しの時間かもしれないが、全く大人の目がないというのは事故などあった時対処できないと思うので考えていただきたいです。行事はなかなか休みの日にやるのは先生方の負担もあるのは承知していますが、仕事でなかなか土曜日に休むことができず、運動会や発表会、卒園式など大きな行事は両親参加できるよう日曜日や祝日での開催も考えていただけるとありがたいです。	ご意見ありがとうございます。 子どもたちから離れることのないよう、十分に気を付けてまいります。非常勤保育教諭の増員により、改善してまいります。
28	保育方針の変更は理解できますが、全てにおいて中途半端な印象を感じます。発表会や運動会では今までの中で1番見応えを感じませんでした。子供たちの自由性を重視するのも大切ですが、もっと団体行動の必要性や発表会での達成感を感じさせてあげたかったと保護者としては思います。指導のもと出来上がったものを発表する喜びを子供達にも感じて欲しかったと思います。先生方の工夫や創作性は感じられましたが、実際児童が主役の発表会では無いように感じました。普段の保育では色々体験させていただいた点はとても嬉しく思いました。また制服の件も含めてですが、報連相が遅く対応に不満も感じました。先生方同士での意見の統一性がないことも不信感を感じました。来年度以降、良い方向に改善されれば...と強く感じます。	ご意見をいただきありがとうございます。今後とも子ども主体の保育については、行事等も含めて工夫を重ねていきたいと考えております。また、情報の伝達、収集方法についても試行錯誤をしながら改善の方向に向かいたいと思います。
29	コロナ禍で、子どもの体力低下が懸念されていました。園での体操教室など、活発で幅広く様々な運動ができる機会が増えても良いかと感じました。	ご意見をありがとうございました。毎日の園庭やホールでの身体を使った活動に、さらに工夫を加えていきたいと思えます。
30	良かった点：土曜日で他学年の行事の日に、お弁当持参で預けることができたことは、とても良かったです。どうしても休めない仕事があったりしたので、そうした気遣いに感謝しました。	ご意見ありがとうございます。
31	園での様子を伝えてもらう機会が少ないのが残念だった。子供の出来ていない所を注意するだけでなく、出来ていることを褒めて伸ばしている、という感じがあまり見られないのが残念だった。	ご意見ありがとうございます。 一人ひとりのお子様への対応については今後とも丁寧に行えるように配慮いた

	た。職員数が足りず、明らかに余裕がなさそうな所が保護者にも伝わった。	します。
32	<p>今年から、園のありとあらゆるものが、以前と大きく変わったように感じます。まず、大学散策、ボールで遊ぼう、空港見学など、園外保育でいろんなことに触れる機会が増えたことは、とても良かったです。参観日や運動会、発表会も、これまでは「先生が決められた物を覚えて全員が同じことをする」ものでした。これはよくある光景で、大人から見れば、成長が分かりやすいし、逆に今年のように、子供たちが自由に発想したものは、馴染みがないので、不安に思うこともありました。しかし、最後の参観日を見て、それぞれの子供が好きなことをして、それぞれ自由に作った作品や、自分の言葉で発表する様子を見て、みんなの成長が感じられて、とても良かったなと思いました。そして、園長先生が素敵でした！行事の時には、いつも園児や保護者のそばに来て、一緒に参加して下さり、距離が近い感じがしました。なかなかお話することはできませんでしたが、卒園式で泣いてくださったのも嬉しかったです。梅干しづくりや、藍染体験なども、大人でもなかなか触れる機会がなく、羨ましいと思う程充実した内容だったと思いますが、心配なのは、先生たちが、昨年までとは違い、こんなにたくさんのイベントや大きく異なるカリキュラム（例えば、壁の掲示物一つとっても、昨年までとは違っていたように感じます）をこなすことは、保護者の想像以上にとても大変だったのではないかということです。先生達が負担に感じず、働きやすい環境を整えることは、保育の質の向上に大きくつながると思っています。先生がいなければ、いくら素敵なカリキュラムを組んだところで、意味がありません。一人一人の先生が長く働き続けたいと思える幼稚園で、今の新しいカリキュラムが今後も継続出来れば、今以上にもっと素敵なみどり幼稚園になると思っていますので、期待しています！ 追伸 不審者対策が少し気になります…。園庭側は、壁も低く、鍵もないので、誰でもいつでも入れます。職員室に近い東側玄関より、子供がいつも過ごす園庭の方を強化すべきと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>今後とも日々の保育の中でお子様方の成長を見守りながら、五感を使った園内外での体験の機会を作っていきたいと思っています。</p> <p>セキュリティの強化に向けて、塀の設置、暗証番号付きの鍵を近々に設置いたします。</p>
33	感謝の気持ちを持つ事の大切さなどを教えていただき子供なりに理解し、家庭でも感謝の気持ちを言葉で表現できるようになりました。とても大切な事を幼稚園で教えていただき大変感謝しております。	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご家庭でもお子様の気持ちを丁寧に受け止めていただいた結果だと思えます。</p>
34	子供が笑顔で毎日登園できているので、感謝しています。	ご意見ありがとうございます。
35	朝の時間子ども達だけで過ごしてるのが多少気になります。	ご意見をありがとうございます。人員

		の配置については改善してまいります。
36	先生達の報連相がもっとあればより良い園になると思います。担任の先生方の負担が少し多すぎるのでは？特に年長はそう思います。	ご意見ありがとうございます。 先生に余裕があるのは大切なことだと考えます。ご意見は今後活かしていきたいと思います。
37	いつもありがとうございます。おかげさまで毎日楽しく園生活を送っています。れんらくアプリで連絡が来るのは助かるのですが、対象でない連絡（以上児向けの連絡が未満児にもくる等）もくるので自分の子供に関係がある内容なのかどうか直接保育者に聞かないとわかりづらい。どの年齢に向けた連絡なのかわかるようにしていただけるとありがたいです。	ご意見ありがとうございます。 令和5年度は、クラスや学年に分けて連絡するように致します。
38	F駐車場のコンクリートの段差スロープをすべてゴム式の段差スロープにかえてほしい。コンクリートの段差スロープが毎回ズレると中の鉄が出てきてるのが気になります。タイヤが痛むのが早くなりそうです。	F 駐車場のスロープの部分の改修を終えました。 ご意見ありがとうございます。
39	息子は軽度の発達障がいがありますが、担任の先生をはじめ、多くの先生方が息子の気持ちに寄り添って下さり、息子も伸び伸びと園生活を楽しむ事ができ、とても感謝しています。また、グループでの制作や子供会議等、お友達と関わる機会をたくさん作って下さった事や、そのような中でお友達と信頼関係を作れた事は息子にとって入学後の自信に繋がると思っています。全ての先生方に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。
40	今の「新たな教育 保育」について：させる教育をしないことで、子供ができたであろう経験や体験をさせてあげてないんじゃないかと苦悩しています。どこまでがさせる教育なのかわかりませんが、みんなでピアノなどの楽器の演奏を楽しむ、できた達成感などはあってもいいのかと思っています。させる教育だからしないのはもったいないと思います。年少、年中ならいいですが、年長になったら来年の小学生を見据えた保育も考えてほしい。自ら考えて行動できる教育を否定していません。いいと思っています。ただなんか足りない気がするんです。別の話になるかもしれませんが、幼稚園での体操の時間、ボール遊びの時間、縄跳び、楽器、食育などもっと積極的にやって欲しいです。	ご意見ありがとうございます。 保育者が提案することで、子どもの遊びの中にいろいろなきっかけを作っていくことは大切だと思います。今後とも体験の機会を増やしていくことを検討したいと思います。
41	教室に絵本や玩具が揃い、好きに遊べるのが良いと思いました。どの先生も優しく明るい雰囲気、安心して子供を預けられました。特に担任の先生は、私が質問すると的確に親身にお話ししてくださって、とても好感がもてました。たくさん子供がいるのに本当に良く見てくれているのだなど、感心しております。	ご意見ありがとうございます。 今後ともお子様一人ひとりに丁寧に関わることを心掛けてまいりたいと思います。

42	<p>今年度から沢山の玩具が導入され、子どもたちの遊びの幅が広がったように感じました。お迎えに行った時に、今日のエピソードを毎日話して下さり、お迎えに行くのがとても楽しみです。また、行事では、人数制限をなくして下さり、祖父母も楽しむ事ができました。ありがとうございました。異年齢でのプログラムも新しい取り組みで面白かったです。今年の年長さんは色々な取り組みをされていたので、子どもが年長になった時に、沢山の体験が出来ると思ったら楽しみになりました。連絡アプリで発信してくださってるのですが、写りの差があるように感じました。大変かと思いますが、自分の子が写っているととても嬉しいので、あまり差がないようにして頂くと良いかと思いました。また、お手紙が毎月が変わったので、何を毎日しているのかわからないので一言でも発信があると嬉しいです。写真だけでなく、動画があると更に分かりやすいのではないかと思います。いつも丁寧に保育していただき本当に感謝しています。来年度もよろしくお願い致します。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 コロナ感染防止に配慮しながらですが、体験の機会を増やしていくことにご理解いただけたことを感謝いたします。また、情報発信につきましてご提案いただきありがとうございます。個人情報に配慮しながら今後も活動の様子をお届けできればと思います。</p>
43	<p>発表会について、今年度から教育・保育方針が変わった為か、今までの発表会とは違い戸惑いました。なんとなく参観日の延長みたいで、発表会という感じがしませんでした。子どもの自主性を大切にしている事は分かりますが、年少さんに関しては言えば、自主性というのは難しいのかと。可愛い衣装で踊ったり、歌ったりするだけで良かったと思います。劇遊びも台詞が少なく、劇の内容を知らない人にとっては、どういう話なのかも分からなかったのではないかと思います。【子どもが主体性を発揮できる】のには、3クラス全ての演目に参加するのは時間が長すぎた。集中力もなくなって子どもたちの本来の力が発揮できなくなってしまいます。演目別にした方がメリハリは出たのかもしれないと思いました。音で遊ぼうや絵本の読み聞かせにおいて、ピアノや楽器を使ってその物語や音楽の世界観を想像できるのはすごいと思います。本の読み聞かせを沢山して下さるおかげで、本がとても好きで家では私たちに読み聞かせをしてくれる程です。今後も続けていただけると有り難いです。長文失礼しました。</p>	<p>ご意見をありがとうございます。 発表会等へのご提案もいただきまして感謝申し上げます。お子様方の表現を大事にしながら内容を分かりやすくお伝えできるようにする工夫を加えていきたいと思っています。</p>
44	<p>駐車場を広くするか、台数を増やしてほしいです。特に以上児向けの駐車場が縦列な上に枠も狭く、周辺の道路も狭く、いつも事故が起きないかヒヤヒヤします。昔と比べて送迎の子が増えてるし車のサイズも大きくなっています。改善をお願いします。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 駐車場については特に送迎の重なる時間にご心配をおかけしています。検討をする中で、園の立地の関係からも課題を感じております。お仕事のお忙しい中ご不便をおかけしますが、今後ともご協力</p>

		をお願いいたします。
45	<p>行事ごとに保護者へのアンケートを実施してほしい。もっと保護者の意見も聞くべき。発表会や運動会などやりっぱなしなので反省点や良かった点などの意見を集めてほしい。発表会がどの学年も同じに感じた。今年度の発表会、特に年少、年中は保護者からするとつまらなさを感じた意見が保護者間の話ではたくさんあった。コロナ禍のために中止した行事や保育活動をなくしたままにするのではなく以前に戻ってほしい。マラソン大会、保護者の会の行事など。もっと運動をさせてほしい。給食、おやつの際膳時にテーブルに伏せているとこどもから聞いたが、これは一体何のための伏せなのでしょう。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>今後とも感染防止に配慮しながらも行事の開催については制限を緩めていきたいと思えます。</p> <p>また、給食前に身体動かす活動をする と、落ち着いて食事をするのができな かったり、室内での動きが活発になり すぎて怪我に繋がったりするため、お 子様方に落ち着いて食事をしていただ くために行うクラスがありました。</p> <p>令和5年度からは、3歳以上児でも できる限りチーム保育者等による事 前配膳にして、その間に担任が子 どもたちに絵本の読み聞かせをし たり、午前中の振り返りをしたり して気持ちが落ち着くような時 間を作る予定です。</p> <p>今後とも、学期ごとにアンケート を実施するなどして保護者の皆様 のお声も参考にさせていただきま す。</p>

令和5年度外部評価報告書

幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園(以後みどり幼稚園)では、令和4年度の自己点検評価報告書とエビデンスとなる資料を基に、外部評価委員4名による外部評価を行いました。

多くの貴重なご意見、ご感想等をいただきましたので、今後の園の運営、及び保育に活かしていきたいと思っております。以下にその結果を報告いたします。

【外部評価委員会】

日 時:令和5年9月30日(土)16:30~18:00

場 所:みどり幼稚園 保育室

出席者:今門孝蔵外部評価委員、白石知子外部評価委員、蓑部初外部評価委員、倉内潤外部評価委員、山下恵子園長、中武亮子副園長、佐伯千穂3歳以上児主任、黒木さつき3歳未満児主任、湯地知子係長

協議内容

1. 開会
2. 園長挨拶
3. 参加者紹介
4. 概要説明(山下恵子園長、佐伯千穂以上児主任、黒木さつき未満児主任)
(1)近況報告 (2)評価項目について (3)質疑応答
5. 意見交換及び講評
6. 閉会

※資料「令和5年度 宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園外部点検評価委員会次第」

「みどり幼稚園の教育・保育の方針」

「育児担当制～保育環境を通じたこれまでの実践と経過報告～」

【外部評価委員の評価コメント】

1. 福祉サービスの基本方針と組織

「理念・基本方針について」「経営状況の把握について」「事業計画の策定について」「質の向上への組織的・計画的な取り組みについて」

- ① 建学の精神を基盤に21世紀型の教育・保育を目指して緻密な計画が立案され実行されている。これまでの保育と異なり、大転換が図られている。

- ② 令和5年度みどり幼稚園自己点検評価について、保護者の意見はアンケートから判断されたと思うが、先生方の意識はどうだったでしょうか。
また、その後の先生方との共通理解はどのようにされたのか。さらに、実施されている3、十分でないが実施されている2の評価についての改善策等の共通理解や本年度の実施についての共有についても、今後期待したい。
- ③ 園のパンフレットに特色ある教育・保育として6点書かれてありますが、今後、報告書に具体的なものが書かれると(パンフレットの中に活動の様子を入れるなど)さらに、園の紹介になってよいと思う。
- ④ 事業計画やそれに係るPDCAチェックをするなど、事業計画を着実に実行する手立てが施されている。また、保育の質向上のための職員研修が多く企画され、保育の質向上に努めている点は非常に評価できる。
- ⑤ 理念・基本方針の周知がされているので良い。しかし、保護者アンケートの結果から不十分な部分も見られ、さらなる周知が望まれる。大学や短大の先生からのコメントを保護者通信等に掲載すると、保護者の理解を得やすくなるのではないかな。
- ⑥ 教職員が一丸となってチャレンジしよう、改善しようとする向上心が伝わる。
- ⑦ 事業計画をもとに活動を実施し、反省を踏まえPDCAによる進捗管理が行えている。

2. 組織の運営管理

「管理者の責任とリーダーシップについて」「人材の確保・育成について」「運営の透明性の確保について」「地域との交流・地域貢献について」

- ① 人材育成の観点から、研修会や勉強会が定期的に行われている。
- ② 大学の附属幼稚園ということで、他園の参考にもなるように意識されて、保育活動を実施されていることが感じられる。
- ③ 一人一人の子どもたちの多様性を踏まえて、日々、先生方が一生懸命関わる姿を説明受け、安心した。先生方の経験や力も様々であるが、若い人を育てるという思いが園の雰囲気から感じられる。幼稚園教諭については、宮崎県は教員育成指標を本年度から改善したが、小・中学校等の教員の読み替えである。他県は幼児教育関係者の育成指標がある。大学・短大においても、今後改善し、養成機関として、しっかり学生指導を行っていきたいと考えている。
- ④ 地震・津波等の安全管理については意見を述べたが、園内だけでは解決できる問題ではないと考える。姉妹校である高等学校・本部と連携して子どもたちの命を守る計画を立て、保護者と共有してほしいと思う。また、幼保小の架け橋プログラムについての実施についてもよろしく願いたい。子どもの成長を切れ目なく支えるためには必要だと考える。乳幼児のそれぞれの特性と幼児教育・保育の在り方についても小学校に理解してほしい。多様性などだけの連絡会の実施だけに終わっているのでは、小1プロブレムはなくならないと思う。特に、今回の改訂では幼児教育・保育が大きく変わった。その変わったことが主体的・対話的で深い学びに繋がると考える。是非よろしく願いたい。

- ⑤ 園長のリーダーシップのもと、職員の負担が少しでも軽減できるよう積極的に非常勤職員を採用し、労働環境の改善に努めている点が評価できる。また、清武みどりとの合同研修では互いが切磋琢磨しながら、さまざまな意見を出し合いともに良い保育を目指す土壌ができています。
- ⑥ 地域貢献については、本年度よりこころルームの開催回数をこれまでの倍以上に増やし改善が見られる。今後は、昭和町付近の子育て支援の拠点となるような取り組みが望まれる。
- ⑦ 職員研修やキャリアアップ研修の機会が確保され、保育者としての質の向上を目指す姿勢がみられ大変すばらしい。
- ⑧ 新たな人材確保に向けた取り組みがあると長期的に安定した組織が維持されていくように感じる。

3. 適切な福祉サービスの実施

「利用者本位の福祉サービスについて」「福祉サービスの質の確保について」

- ① 保護者アンケートを実施、分析し、よりよい教育、保育活動に生かしている。園児が園での生活を楽しくしているという項目の評価の高さから見て、保護者の厚い信頼を得ていることがわかる。
- ② 遊びの中で、体を使って遊ぶ部分がどの程度か見えにくいように思う。1日の生活の中で、このような体を使った遊びをしているなどの発信も大いにしてもらえると保護者は安心するように思う。変化に不安を持つ保護者はいつも多くいる。このような根拠でやっている自信をもってやって欲しい。
- ③ 利用者が満足できる保育とは何かを全職員が真剣に向き合って日々研究されている姿は、非常に評価できる点である。先生方からのコメントの至る所に、子どもを中心に考えた保育を実現するためには何をすべきかを常に考えていることが見受けられ、それらが福祉サービスの質確保にもつながっている。
- ④ 災害時(津波)が発生したときの避難の仕方、園内の非常食持ち出しが心配である。避難場所での非常食備蓄等の検討も必要と感じる。宮崎学園中高との共同避難訓練の実施が望まれる。

おわりに

令和5年度、初となる外部評価を実施しました。自己点検評価に基づいて4名の外部評価委員によって外部評価を受けるという経験は、日常を振り返る良き機会となりました。

「福祉サービスの基本方針と組織」、「組織の運営管理」、「適切な福祉サービスの実施」という評価項目に基づいた自己評価では、それぞれの課題も明確となり、また外部評価委員のコメントからも改善事項の重要性を再認識することになりました。

子育て支援や保護者の目線に立ったサービス内容については、まだまだ改善が望まれると思います。子どもたちの豊かな育ちのために、保護者からの意見を聞きながら改善を進めていきたいと思っております。

さらに、南海トラフ地震に備えた総合避難訓練等の必要性があることも明確になりました。一組織での対応は難しいことが予想されるため、警察、近隣学校等の関係機関との連携や保護者との連絡方法等についても、詳細な対応について深めてまいりたいと思います。

結びに、お忙しい中ご協力いただき、貴重なご意見を頂戴しました外部評価委員の皆さまに、心からのお礼を申し上げます。また、令和4年度からの改革において、「こどもをまんやかに据えた保育に取り組みたい」と日々奮闘してくださっている職員にも心から感謝いたします。

本園は、これからも子どもたちの幸せを願って、教育・保育の質向上に取り組んでまいり所存です。今後ともご指導、ご支援をどうぞよろしくお願い致します。



来年も良い年となりますように。メリークリスマス

令和5年12月20日

幼保連携型認定こども園
宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園
園長 山下 恵子

